

高齢者自転車乗用時 ヘルメット着用モニター事業 アンケート結果

三重県 環境生活部 くらし・交通安全課

概要

高齢者の自転車乗用時のヘルメット着用率向上を図るため、高齢者ご自身が着用モニターとして実際にヘルメットを着用して「見せる啓発」を行う「高齢者自転車乗用時ヘルメット着用モニター」事業を実施し、着用モニターの皆様にアンケート回答にご協力いただきました。

○ヘルメット着用モニター募集期間：令和6年7月8日から令和7年2月14日

○アンケート回答期間：ヘルメット受領後1か月以内

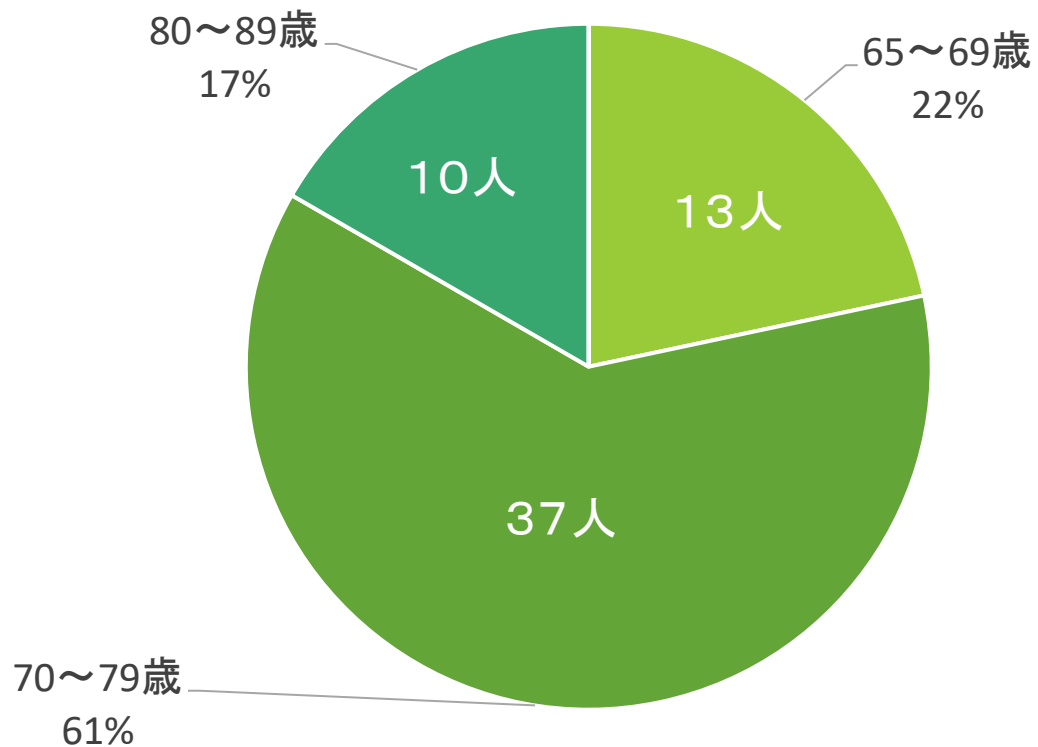
○着用モニター数：74：人

○回答率：81%（60/74）

○実施方法：紙媒体またはWEBフォームによる回答

Q1.自転車用ヘルメット着用者の年齢をお教えてください。

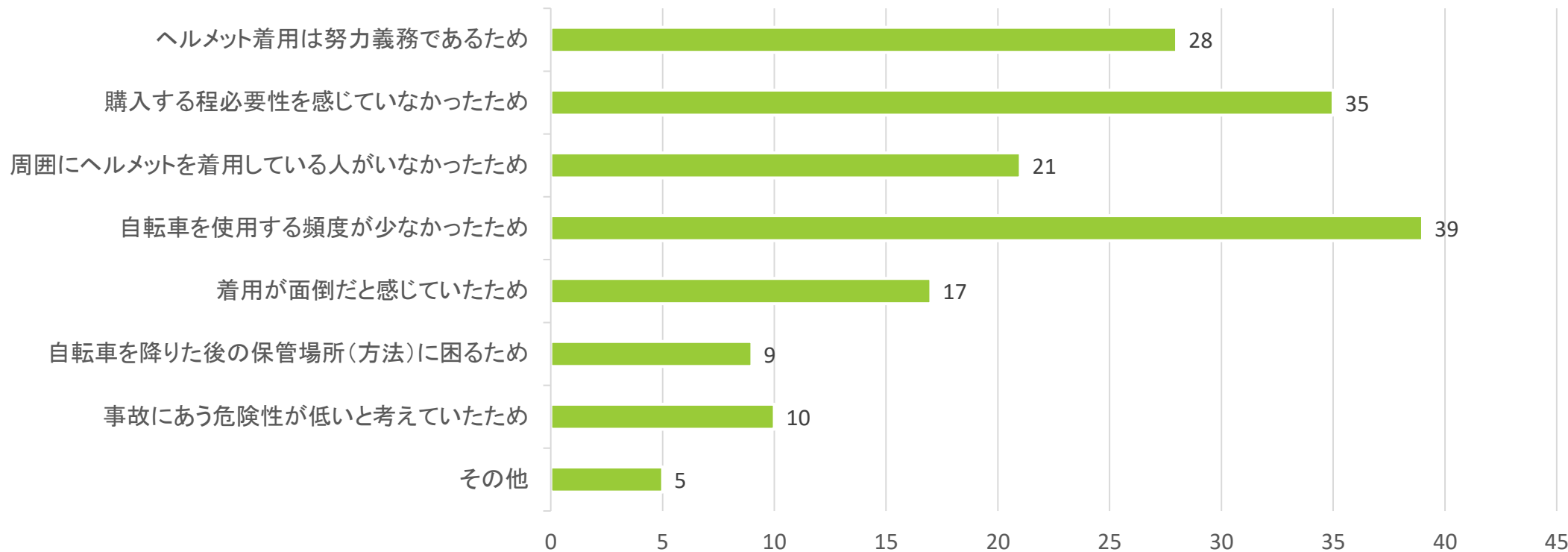
自転車用ヘルメット着用者の年齢



・65～69歳が13人、70～79歳が37人、80～89歳が10人、90～99歳が0人、100歳以上が0人という回答結果になりました。

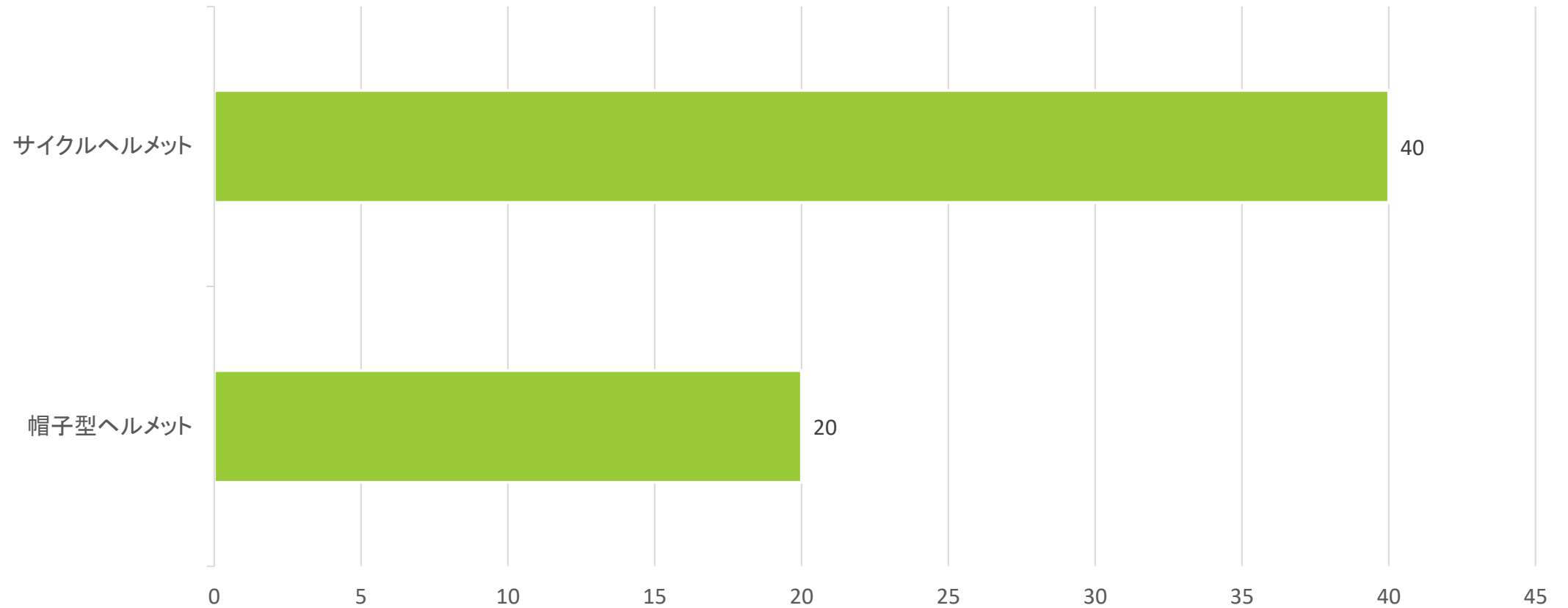
Q2.着用モニターとなる前に、自転車用ヘルメットを所持していなかった理由に当てはまるものを選択してください(複数回答可)

自転車用ヘルメットを所持していなかった理由



【その他(記述)のご意見】「購入しようと考えていたところだった。」、「自転車に乗る時は帽子をいつもかぶっている。」、「通常変速比率の小さい車で有った為。」、「自動車運転を50年近くしていますが、そろそろ免許返納を考えていますので、自転車に乗るのも良いと思い。」、「ウィッグを着けているのでその上にかぶるのはためらわれた。」

Q3.受領した自転車用ヘルメットの種類を選択してください。



・サイクルヘルメットの申請上限が55個、帽子型ヘルメットの申請上限が25個のため回答数に差があります。

Q4.自転車用ヘルメットを着用した感想をお教えてください(一部)

【サイクルヘルメット選択者】

- ・着用したら非常に軽かった。
- ・思ったより軽く着用しているわずらわしさが無い。
- ・軽いので良い。
- ・非常に軽く安全強度クリアしているのかと心配なほど着用が苦にならないし、なにより楽しい気分になる。風通しも最高です。
- ・ヘルメットがかっこいい！主人と共同で使用出来るので良い。軽く、かぶりやすい。

【帽子型ヘルメット選択者】

- ・サイズは丁度良く、着用は無理がない。帽子型ヘルメットのため、服装になじんで違和感が少ない。また日差し除けにもなる。
- ・頭にフィットして、ズレが無い、しっかり守られている感じがする。
- ・サイズはいいが、色合いをもう少し明るい色にしては！！
- ・サイズがすこし小さめだった。
- ・ヘルメットをかぶっているという感じが無い。(おしゃれ感)

サイクルヘルメットについては、軽く、通気性が良いため被っていても苦にならないという意見が多くありましたが、軽すぎるために耐久性を心配される声もありました。

帽子型ヘルメットはサイクルヘルメットに比べサイズが小さいため、しっかり守られていると感じられるご意見と、着脱がしにくい、というご意見がありました。また、見た目に関しては、服装になじみやすいと感じられる方がいる一方で、色はもう少し派手な方がよいのではないかとご意見がありました。

Q5.着用モニター活動についての感想をお教えてください(一部)

- ・自転車使用回数が増えた。
- ・交通安全意識向上と模範になりたい。
- ・ヘルメット着用により、事故に遭った時の不安が減った。より安心して自転車に乗れ、自転車の使用回数を増やした。
- ・不安感が軽減し、安全安心に自転車に乗れました。
- ・今後もヘルメットを着用したい。
- ・着用を面倒と思うときもあるが、キッチリつけている。
- ・見せる啓発のため自動車より自転車に乗る機会が増えた。
- ・着用を始めたら、ヘルメットなしでは恐くて自転車に乗れなくなった。
- ・安全意识が変わった。皆が着用すると良いと思った。
- ・いつも着用しており、子供家族にもラインメールで着脱時の写真を送りましたら「安心ですね」等の返事がきました。
- ・待ちに待ったヘルメットだったので届いた日にかぶり自転車で買い物。盗まれると困るので帽子みたいにかぶったままスーパーの中を歩きました。
- ・交通安全について、さらに意識が高まるとともに普段の自分の運転を見直す機会が増えた。
- ・着用することがあたり前となった。やはり全ての方が自転車に乗るときは、ヘルメットを着用しなければならないと確信しました。

ヘルメットを着用するという手間はありますが、それ以上に着用することの必要性を感じている、交通安全意識が高まった、というご意見が多くありました。また、着用を続けるうちに着用することがあたり前となった、ヘルメットがないとかえって不安に感じるようになった、周囲にも着用を勧めたいという回答がありました。

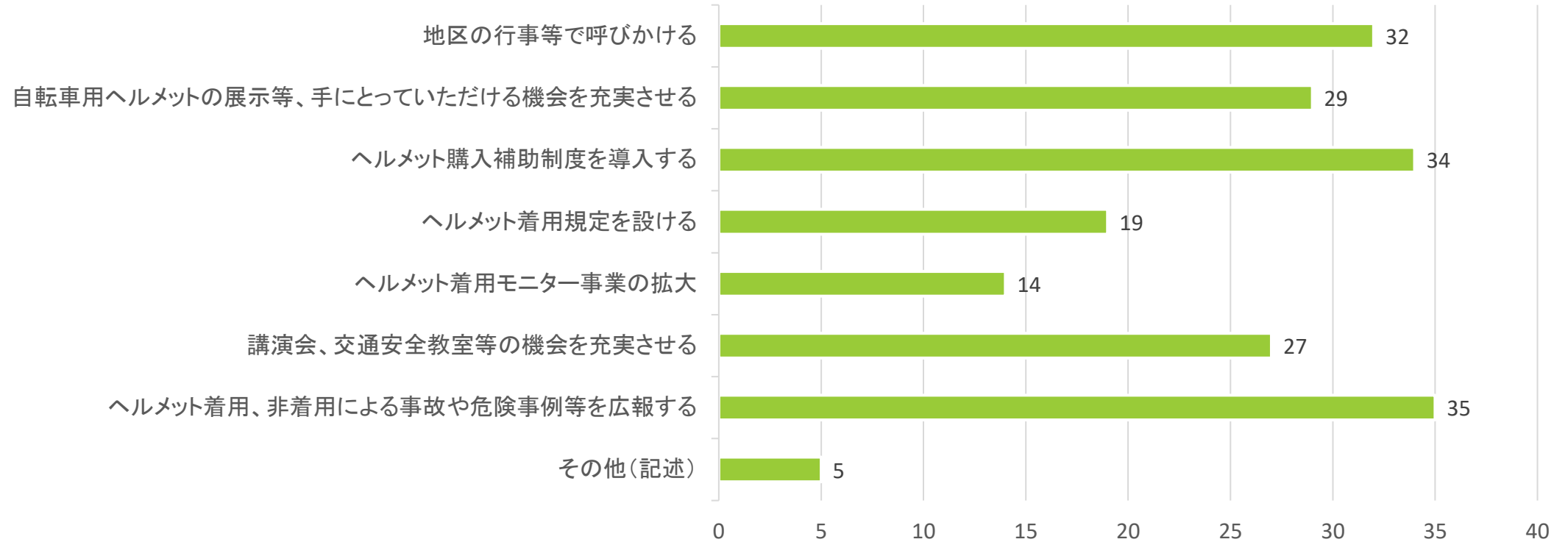
Q6.着用モニター活動中の周囲の反応について教えてください(一部)

- ・そのヘルメットいいね、よく似合うと周りの人から言われます。
- ・「帽子みたいで、ヘルメットらしくないのが良いね」と言われた。
- ・女房もヘルメットを買うといっていた。
- ・カッコいいねと軽いなーの反応が多かった。
- ・帽子の形をしたヘルメットの方が好きですと言われた。
- ・友達にヘルメットを見せてあげたら、私もほしいと言われました。
- ・「頭を保護してくれるのでいいね」「私も買ってこようかな」「地震の時も頭を守ってくれるのでいつも近くに置いておくといいね」など。
- ・しっかりと事故対策をしてるねと言われ周囲の人から褒められる事があった。
- ・いいね、軽そう、安全に一役買うねと言われた。
- ・サイクルヘルメットなので、少しハデとを感じる方もいるが、機能的だと言ってもらえる。
- ・近所に自転車利用者は少なく、私がかぶり近場まで行くので、自転車を買われた方がいます。車で行けない所があるので自転車利用者がふえるかもしれません。
- ・それ帽子形で珍しいと言われた。
- ・まだ皆さんは無関心のように思った。但し小学高学年から高校生は自分も実行しようと感じて居るように思った。

ヘルメット着用について、関心が薄いためか周囲から何も反応がなかったというご意見もありましたが、周囲から好意的な反応があったという感想が多くありました。また、着用モニターとして活動する中で、実際に周りでヘルメットを購入された方がおり、「見せる啓発」の効果が感じられる結果となりました。

Q7.ヘルメットを広く着用してもらうには、どうしたらよいか 考えに近いものを選択してください。(複数回答可)

ヘルメットを広く着用してもらうには、どうしたらよいか



【その他(記述)のご意見】

「今後老人会に於いて研修会にてその必要性を話していきます。」、「駅、自転車駐輪場など公共施設にポスターをはる。」、「小、中学校で自転車の乗り方の講習をおこなってヘルメット着用を説明する。」、「ヘルメット着用フェスティバル等大々的に市長に提言しては！」、「まず高校生に対し義務づけをするべきだと強く思います。また、高齢者も年齢を設定して義務づけることも必要と考える。」

アンケート結果まとめ

Q2の「着用モニターとなる前に、自転車用ヘルメットを所持していなかった理由に当てはまるものを選択してください」という設問では、未所持の理由として最も多かったのが「自転車を使用する頻度が少なかったため。」であり、Q7の「ヘルメットを広く着用してもらうには、どうしたらよいか考えに近いものを選択してください」という設問では、「ヘルメット着用、非着用による事故や危険事例等を広報する」を選択した方が最も多いという結果となりました。以上のことより、自転車の利用頻度が高く、ヘルメットの必要性・重要性を感じられる機会がある人程、ヘルメットの着用に積極的であると考えられます。

また、着用モニター事業で「見せる啓発」を実施する中で、着用モニターの周囲で購入された方、購入を検討される方が現れたことより、「見せる啓発」でヘルメットの必要性・重要性を感じられる機会を多くの方に提供できたと推測します。

今後、ヘルメット着用にかかる啓発を実施する際には、ヘルメットの着用・非着用による被害状況の違い等、ヘルメットの必要性・重要性をより実感できる啓発が効果的であると考えます。